

中間報告書

令和2年9月28日現在

- 1 事業名 にいみ木にかかわりビトプロジェクト
- 2 実施期間 令和2年7月22日～令和3年2月28日
- 3 事業内容

① 事業の目的・概要

(目的) 子どもから高齢者までの多世代の方々が気軽に交流できる機会を、ニーズに合わせて提供することに積極的に取り組み、「木育」活動を通して、森林を身近に感じ、木の持つ魅力を体感してもらう。新見産材を使った積み木等の遊びのワークショップやものづくりワークショップを実施し、あらゆる世代の木育への理解を深める活動を続けることで、新見が発信する「にいみ木育」を備中圏域、県内、ひいては全国へ普及することを目指す。

(概要) ○新見産材等を活用した木製品の企画や木育活動の実施
○木育の普及・啓発

② 事業の流れ・進捗状況等

<実施したこと>

○新見産材を活用した木製品の企画や普及啓発

㊦ひのきの香り玉プロジェクト 2020

8月 7日(金) 県立健康の森特別支援学校 中学部教員と作業学習打合せ

9月 15日(火) 県立健康の森特別支援学校 中学部作業学習

新たに高等部の授業の中での取り組みについての申し入れがあった。

コロナ禍により、実質作業時間が確保できないこともあり、目標個数の修正が必要となった。

㊧7月25日(土) 新見産材を使った積み木のワークショップ

場 所：新見市立新見南認定子ども園

参加者：園児と保護者 12名

土曜日の地域開故事業の中で「木育ひろば」として実施。親子での「木のおもちゃ」での遊びは好評で、定期的な実施を望む声が多かった。

○木育の普及・啓発

㊦8月21日(金) 備中県民局管内木育関連団体による意見交換会

場 所：備中県民局第2庁舎第7会議室

参加者：倉敷美しい森づくりの会・認定NPO法人ハーモニーネット未来

NPO法人フォレストフォーピープル・一般社団法人にいみ木のおもちゃの会

備中県民局・井笠・高梁・新見各地域森林課 12名

「木育活動の連携に向けて」の意見交換を行い、備中県民局管内の木育活動についての情報の共有と相互協力についての共通理解を図った。

㊧9月25日(金) 新見公立大学公開講座

演題は、「木育による人づくり、地域づくり

～幼児から高齢者まで、木と関わることでつながる想い～

場 所：まなび広場にいみ小ホール

参加者：30名(新見市民のほか、鳥取県や高梁市からの参加あり)

公立大学と連携して「木育」の普及啓発を行った。

- ㊦高梁中学校科学部の活動とリンクし、中学校での「木育」授業や夏休みの校外学習での森林学習などを行った。高梁地域森林課と協力しての森林環境学習や、糸鋸を使った木工体験に取り組むことにより、「木」を身近に感じ、生活の中に「木」を取り入れようとする生徒の育成を目指した。

7月29日(水)真庭市へのエコツアー／9月11日(金)木工授業

- ㊧新見高等学校の生物生産科の生徒に、「木工体験」を通して、森林の大切さを体感させる「木育」プログラムを実施した。教育庁高校教育課の 高校生発！「木のぬくもり実感」事業と連携することにより、授業の一環として実施することができた。7月20日(月)「木について知る」、8月4日(火)「木の加工の仕方を学ぶ」、9月8日(火)「新見材でカホンを作る」3回

<今後、実施すること>

○新見産材を活用した木製品の企画や普及啓発

- ㊨「ひのきの香り玉プロジェクト 2020」での玉磨きを12月を目途に行っていく。保育園や子ども園への提供やそれに伴っての「木のおもちゃ広場」を実施予定。
- ㊩9月30日(水)「kUMINO」(新見産ひのきの立体積み木)のワークショップを、製作者井上慎也氏をお迎えし、新見市立新見南認定子ども園で実施する。
- ㊪新見産のひのきで作った積み木を市内の保育所、子ども園に寄贈していく。まず、10月1日(木) 昨年度の豪雨災害で被災を受けた新見保育所に、「ひのきの積み木1000枚」を寄贈する予定である。
- ㊫10月6日(火)新見市立新郷保育所での「木のおもちゃ広場」を開催する。
- ㊬10月8日(木)高梁中学校科学部での恐竜の骨格模型製作活動を行う。
- ㊭10月13日新見市新見南認定子ども園に「鉋けずりワークショップ」を行い、「杉」と「ひのき」の香りを体感させる。大工、建具職人、家具職人が子ども達に実際に鉋けずりを体験させながら、新見の木について話をする。
- ㊮10月15日(木)大佐認定子ども園の遠足での「木のおもちゃ広場」を開催する。
- ㊯10月17日(土)倉敷市児島児童館での「木のおもちゃ広場」実施予定。
- ㊰10月28日(水)倉敷市児島市民センターでの子育て支援講座の講師として、「木のおもちゃ」を通しての子育てについてワークショップを行う。
- ㊱11月5日(木) 高梁市立巨瀬小学校において「くむんだー®木のジャングルジム」のワークショップを行う。「ミニくむんだー」も制作中で、12月には、希望保育園でのワークショップを行っていく予定である。
- ㊲11月19日(木)早島町子育てグループへの「木のおもちゃ広場」実施予定。
- ㊳12月6日(日)静岡県富士市への「くむんだー」ワークショップ実施予定。
- ㊴「木育」プログラムについての情報収集と会員同士の研修の場を設定し、「にいみ木育」を作成する。
- ㊵「木育プログラム」に基づいたカリキュラムの開発と実践に努め、機能的で使いやすいプログラム内容に発展させていく。

○木育の普及・啓発

- ⑦10月25日(日)に倉敷で開催予定の都市緑化フェスティバル(倉敷みらい公園)での「にいみ木育」の発信と岡山県材の普及啓発のためのアンケート実施を計画している。
- ⑧12月に岐阜県職員河合高志氏を講師として招聘し、「岐阜木育30年構想の現在と未来(仮題)」について講義を予定している。「木」に関わる団体や個人に広く呼びかけ、岡山県の「木育」推進に繋げていくと共に、県内の「木育」団体とのネットワークを構築していく。

③ これまでの成果・効果、今年度事業終了後の成果・効果の見込み

○備中県民局管内の「木育」に関わる団体との意見交換会が実施できたことが、提案型協働推進事業の大きな成果と言える。今後は、建築関係、林業関係、自然保育等、「木」に関わる多種多様な団体や個人とのネットワーク構築が岡山県の木材普及へと繋がっていくものとする。「木育プログラム」は、様々な活動の指針となるべきものとして必要となってくる。

0歳児から幼児、小学校の低学年、中学年、高学年、中学生、高校生、そして大学生までの世代へのアプローチの方法については、概ねプログラム化の目処は付いた。地域の実情に合わせたプログラム展開を図ることにより、他地域への波及効果も見込まれる。

④ 課題等

○コロナ禍により、当初予定していた「森のゆうえんちinにいみ」や「杜の忍者になろう」という親子交流型自然体験活動も中止を余儀なくされた。当会の活動内容の特性から「三密回避」という高いハードルを越えての実践はできないのが実情である。今後も状況把握を適宜行いながらの活動となってくる。普及啓発等、SNSやマスメディアを活用して、効果的な発信をしていきたい。県産材を使用した手作りのおもちゃを新見市内の店舗や公共施設に寄贈することを大学生や子ども達と共に企画、実施していきたい。

エビデンスに関しては、事業実施があまりできなかったが、母体数は少ないなりに参加者の感想や全体の様子で手応えは感じている。方法等についても随時検討し、実施していきたい。

4 参考事項・資料

収支予算書